

2026 年 8 月 31 日

プレスリリース

リガク・ホールディングス株式会社

熱分析装置「STAvesta」が「第 56 回 機械工業デザイン賞 IDEA」 審査委員会特別賞を受賞 ～高い測定性能と使いやすさを両立～

リガク・ホールディングスのグループ会社である株式会社リガク(本社:東京都昭島市、代表取締役社長:川上 潤、以下「リガク」)は、熱重量・示差走査熱量測定装置「STAvesta」が、株式会社日刊工業新聞社主催の「[第 56 回 機械工業デザイン賞 IDEA](#)」において、審査委員会特別賞を受賞したことをお知らせします。

「機械工業デザイン賞 IDEA」は、製品外観に加え、機能、性能、安全性、操作性、市場性などを総合的に審査する工業製品の表彰制度です。今回は、本装置の高い測定性能と利用者視点の機能を一台に集約した製品設計を評価いただいたものと受け止めております。本装置は、サンプルを加熱または冷却した際の重さの変化「TG」と、吸熱・発熱などの熱の出入り「DSC」を同時に測定する分析装置です。高分子、金属、電池材料など、幅広い材料の研究開発や品質管理に活用されています。リガクは今回の受賞を契機に、国内のさらなる認知向上と導入拡大を進めるとともに、海外市場においても熱分析装置事業の展開を強化してまいります。



▲STAvesta

主な特長

1. ユニバーサルデザイン

利き手を問わず左右どちらからでもサンプルを扱いやすく、メンテナンス作業もしやすい設計です。角部の傾斜面に表示パネルを配置することで、装置の設置方向にかかわらず、温度やエラー情報を確認しやすくしています。また、サンプルの置き間違いを防ぐガイド表示も備えています。

2. 様々な自動機能

自己診断機能「vestaeye」が起動時から測定中まで装置状態を確認し、異常の早期発見をサポートします。また、自動調整機能「FlatBlank」は、従来、利用者が装置に付き添っていた測定前の調整作業を自動化し、調整開始後の追加操作を不要にします。

3. 高い測定性能と、効率的で安全なサンプル処理を両立

用途に応じて交換可能な全 7 種類の電気炉に対応し、1 台で幅広い測定が可能です。オプションのオートサンプルチェンジャーは、最大 52 サンプルに対応し、搬送速度は前モデル比で約 2.3 倍です。サンプルの自動搬送中に可動部や熱源に触れることを防ぐカバーを備え、安全性にも配慮しています。オートサンプルチェンジャー装着後も設置面積は変わらず、研究室内の限られた空間でも効率的な測定環境を構築できます。

開発の背景

研究開発や品質管理の現場では、熱分析を専門としないユーザーが増えています。また、使用頻度が低いユーザーからは操作方法や装置状態の確認に戸惑うという声もありました。こうした背景を踏まえ、従来機で培った測定技術を継承しながら、装置の前で迷う時間や不安を減らすことを開発の柱としました。

【リガクグループについて】

リガクグループは、X 線分析をコアに熱分析等も含む先端的な分析技術で社会をけん引する技術者集団です。産業・研究用分析のソリューションパートナーとして 1951 年の創業以来、136 の国と地域のお客様と共に成長を続けています。日本国内で極めて高いシェアを誇り、海外売上は約 70%に達しています。応用分野は、半導体や電子材料、電池、環境・エネルギーからライフサイエンスまで日々拡大中です。世界で 2,000 名超の従業員が「見るチカラで、世界を変える」イノベーションの実現に取り組んでいます。詳しくは rigaku-holdings.com をご覧ください。

【リリースに関するお問い合わせ】

リガク・ホールディングス株式会社 コミュニケーション部 部長 姫野 佐和
TEL: 090-6331-9843 e-mail: prad@rigaku.co.jp